



この人
 外来の橋本有紀看護師をご紹介します。彼女は笑顔がとても素敵です。昨年より副主任として、私もその笑顔に癒やされている一人です。

笑顔のパワーあふれる 頼れる存在

子育ての経験を看護に活かすベテラン看護師

看護2科 副主任 橋本 有紀さん

任となり、眼科・乳腺外科・小児科・泌尿器外来を中心に、長く外来で働いておられる橋本さんは3人のお子さんのお母さんで、

りやっていたのけました。物腰は柔らかいですが、自分なりの看護観や考えをしっかりと持った方です。頼れる存在で、本当に一体どこにそんなパワーが隠れているのかと思いません。皆さんも困ったこと、不安なことがあれば相談してみてください。きっと力になってくれるはずですよ。

(看護2科 三宅 和子)

新人看護師自ら入院生活を体験 ~これからも患者さん目線を大切にしたい~

今回の入院体験を通して、自分が想像していたよりも入院中の患者さんは多くのストレスがあるのではないかと考えることができました。私は腰椎圧迫骨折という設定で体験を行いました。何か頼みたいときにナースコールを押すのは勇気があることだと感じました。いやな顔をされたらどうしようなど、きっと患者さんも様々な不安を持ちながら呼んでくれている場合もあると思うので、そのような不安を与えないような対応ができるようになりたいと思いました。

また、心不全食で塩分制限6gの食事でしたが、1日食べるにはとてもおいしく感じましたが、味付けが薄く毎日食べるとなると少し物足りないなとも思いました。

今後、様々な制限のある中で、日々治療されている患者さんの気持ちに、少しでも寄り添えるようになりたいと思います。



3階北病棟
あしだ あやの
芦田 彩乃

入院体験で患者さんの思いを学ぶことができました。病室で一人過ごすことは心細くありましたが、看護師が優しく話し掛けてくれたり、隣の患者さんが声をかけてくださったりし、心細さが安心感に変わっていきました。

驚いたことは、廊下の足音や物音が病室まで聞こえていたことです。患者さんの立場になってみないと分からなかったことなので、今回の体験は貴重な経験になりました。

しかし、私が体験した短い時間の中では感じる事が出来ない患者さんの思いがあると思います。今後の自分への課題は、ケアや処置をする際に、患者さんの思いを考えること、気持ちを考えたうえで心に寄り添えるような声かけをすることだと考えます。



2階西病棟
くにかた あいり
國方 彩里

水島協同病院は差額ベッド料はいただいております

大腸内視鏡検査を受けました。最初から鎮静剤の予定ではなかったの

ですが当日の変更を受けて下さり違和感なく検査が終了しました。又発見時点での切除を下さる二度も下剤を飲まずにすみ助かりました。このやり方が続けば又の時も安心して受けられます。便の状態が写真で表してあるのは、わかりやすく、ムーベン内服のしかた(参考)もあって良かったです。病室内の家具(?)も広くて良かったです。

安心して安全に検査、治療が行えるようにスタッフ一同努めて参ります。

〈謝辞〉
 投函場所… 病院4階

虹の意見箱

みなさまから
貴重な声を
いただいています

臨床工学技士は1987年に制定された、他の医療資格のなかでは比較的新しい国家資格といえます。私たちは医師の指示のもと、生命維持監視装置の操作や保守点検を行う医療機器の専門職種です。



新入職員2人をパチリ

(臨床工学科 小池 和典)

これからも安全安心の医療を提供するうえで必要な、縁の下の力持ち的存在として、一步一步前進していきたいと思えます。

器、心電図モニター、輸液・シリンジポンプなどの、いわばいのちに直結する大切な医療機器の保守点検を行っており、いつでも安全に使用できるように日頃から準備しています。

当院では今年度仲間になった2名を加えた総勢16名の臨床工学技士が従事しており、医師、看護師とともに医療機器を用いたチーム医療の一員として、日々奮闘しています。

医療機器のことなら お任せください

臨床工学科の知られざる
世界をご紹介します

シリーズ
 拝啓、組合員さんへ
 ~みずぎょうの
 各部署から~

臨床工学科